

れきし

てらす通信

《発行》
新座市立歴史民俗資料館
野火止二丁目9番37号
TEL:048-481-0177
FAX:048-481-0149
MAIL:rekimin@city.niiza.lg.jp

第3号（令和6年1月）

今年もよろしくお願ひします！



今年、令和6年は「れきしてらす」にとって初めてのお正月です！！

月日が過ぎるのは早いもので、4月1日の開館からもう9か月が経ちました。

昨年の中頃は、旧歴史民俗資料館では資料の搬出、「れきしてらす」では搬入作業、また事務室の引っ越し準備などで大わらわだったことが、つい昨日のこのように思い出されます・・・。

さて、今年はまれにみる暖冬。朝晩の冷え込みはさすがに厳しいものがありますが、日中はとても1月とは思えないくらい暖かい日が続いています。穏やかな冬のひととき、お散歩やお出かけの際はぜひ「れきしてらす」にも足をお運びください。

皆様のご来館を心よりお待ちしております！

「ペーパークラフトで獅子舞を作ろう！」を開催しました！



去る12月22日から27日まで、研修室で、「ペーパークラフトで獅子舞を作ろう！」を開催しました。ペーパークラフトの型紙は、なんと絵心のある職員のお手製！

作りやすく工夫したペーパークラフトを組み立て、思い思いの色でコーディネートする親子連れ等々にぎわいました。26日、27日は学芸員によるお正月についての豆知識や、新座市域でのお正月の解説を行いました。

門松や注連縄（しめなわ）など、私たちが普段何気なく飾っているお飾りの一つ一つにまつわる意外なエピソードや新座市域独特のお正月の過ごし方に驚いたり納得したり・・・ペーパークラフトを作りながら、とても熱心に耳を傾けてくださいました。

展示資料入替えのお知らせ



現在、常設展のほかに下記の資料を期間限定で展示しています。

【展示資料】(全て個人蔵)

- ①三つ扇紋小箱 ②伊豆蝶・三つ扇紋茶器 ③稲葉能登守宛返札
④松永耳庵・賛「宝篋」(2月10日まで)

【お楽しみに!】

2月14日から、研修室にて桃の節句にちなんで「雛人形七段飾り」を展示します(3月10日まで)。

さらに、3月3日には講座「雛人形とその装い」を開催します!

- ・時間 午後1時30分から3時30分まで ・講師 学習院大学史料館研究員 田中潤 氏
・内容 雛人形と衣装についての講演会と装束の着用体験 ・定員50名(2月6日から申込順)

～れきしてらすコラム～ 【学芸員のつぶやき】

第2回「お正月」って!?

1月1日は「お正月」!新しい年を迎える日ではあると知りつつも、ただなんとなく過ごしていませんか?あらためて「お正月」とは何か?振り返ってみたいと思います。

★お正月とは? 1年間の幸せをもたらすためにやってくる「年神様」を家族みなでお迎えする行事です。お正月の「正」という字には、年の初め・年を改めるという意味があります。ちなみに「元旦」もよく使われますが、「旦」は水平線から上った太陽を表す漢字なので、厳密には「元日の早旦」(1月1日の夜明けから午前中)を指す言葉です。

☆お正月の由来は? お正月は日本において最も古い行事とされていますが、由来については諸説あり、はっきりしていません。農耕の神様とご先祖様への信仰が合わさって、「家を守る神様」が誕生したと考えられています。この神様を「年神様」として、年の初めに家にお迎えしておもてなしをすることによって、家の幸福と繁栄を頂こうとした行動が、お正月の由来とされています。「門松」は神様が降臨するための目印、「注連縄」は「(神様を)お迎えする準備ができています」というサイン、「おせち料理」は年神様をおもてなしし、家族の繁栄を祈願するという意味が込められています。「おせち料理」は地方によって様々なバリエーションが存在しますが、新座にも独特の「おせち料理」が存在します。本膳は「うどん」・・・水はけが良い武蔵野台地では畑作が主流で、良質な小麦ができたことから、「うどん」が主食とされ、冠婚葬祭の席では必ずと言ってよいほど「うどん」が振る舞われていたそうです。現在では食生活も様変わりしてしまいましたが、新座の風土や食文化の歴史がしのばれるエピソードです。

次回の「れきしてらす通信」は4月発行の予定です
最新情報は「広報にいざ」または新座市のホームページをご覧ください!

